

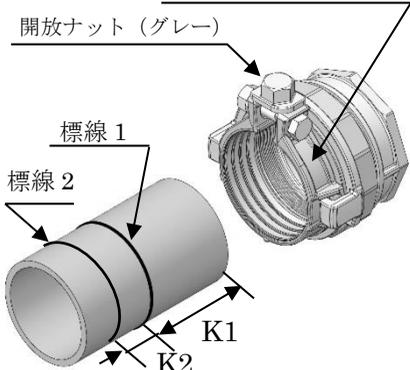
SKX® (中口径) 施工手順 (ポリエチレン(PE)管用)

① パイプ挿入量記入

パイプ挿入量(K寸)を測り、**標線**を2本記入して下さい。

分解せずにストップリングとキャップが接した状態で**標線1**まで挿し込んで下さい。

ストップリング (グレー)

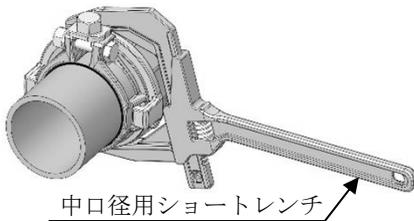


注1) ・パイプ切断のカエリは取り除いて下さい。

- ・滑剤の塗布は不要です。
- ・管の変形が大きい場合はストップリングに入るように管を矯正して下さい。
- ・管止めがある場合は、管止めから3mm以上あけて施工して下さい。

② キャップ本締め

キャップを手締めしてパイプを仮固定した後、中口径用ショートレンチで**キャップを当て締め**して下さい。

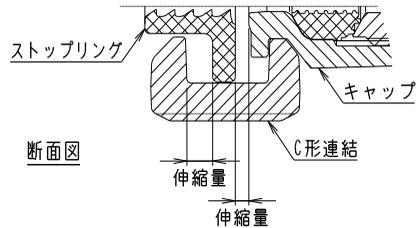
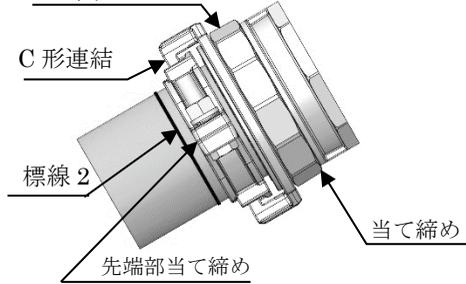


③ ストップリング本締め

C形連結を管中心方向に押えながら、ストップリングを締めやすい位置にして下さい。

ストップリングが2本の標線の間かつ両端伸縮量を保った状態で、ストップリング先端部を当て締めして下さい。

キャップ



注2) ストップリングは当て締め後、さらに締め付けると破損などの不具合が生じることがあります。

注3) パイプとストップリングが直角になるように締め付けて下さい。

④ 施工完了・施工手順チェックシートへの記入

ストップリング端面が2本の標線の間にあることを確認してください。

キャップとストップリングの締め忘れのないように確認を行って下さい。

管 呼び径	SR 呼び径 (グレー)	C形連結 呼び径 (グレー)	本体・ キャップ 呼び径	K (mm)		キャップ (参考締付トルク N・m)	ストップリング (参考締付トルク N・m)	六角 対辺
				K1	K2			
65	P65	65	65	80	+10 -0	当 て 締 め (30)	当 て 締 め (10)	19
75	P75	75	75	85				5

※対応管種は一般用ポリエチレン管です。高密度ポリエチレン管または高圧用ポリエチレン管で使用される場合はお問い合わせ下さい。

パイプ取り外し手順

① ストップリングを緩める

ストップリング締付ナットをボルトの先端位置まで緩めて下さい。



③ キャップを緩める

キャップを分解しない程度まで緩めて下さい。



② 開放ナットの取り付け

開放ナットをストップリング締付部先端に取り付け、「O」の方向(右回り)に90°回して下さい。



④ パイプの開放

パイプを外して下さい。



再施工手順

ストップリングに開放ナットを取り付けた状態で、
施工手順書に従って施工して下さい。

※ 再施工時の注意点

① ゴムパッキンの状態確認

以下の項目に当てはまる場合は、ゴムパッキンを交換してください。

1、テフロンフィルムワッシャが破れている。



2、ゴムパッキンが破損している。



3、ゴムパッキンが永久変形・硬化している。

② ストップリング締付ボルト・ナットの状態確認

以下の項目に当てはまる場合は、ボルト・ナットを交換してください。

1、ネジ山がつぶれている。

2、ボルトが曲がっている。



3、ボルト・ナットの再利用は5回程度。